

磯の生き物楽しく観察

鴨川と千葉大 親子6組が内浦海岸で 交流事業

鴨川市と千葉大学の同センターは、海の生き物の多様性が環境に与える影響や、同市内浦にある同大海洋バイオシステム研究センターで、市内の児童と保護者を対象にしたイベント「磯の生き物観察」が開かれた。親子6組12人が参加し、海の生き物について学んだ。

同センターは、海の生き物の多様性が環境に与える影響や、同市内浦にある同大海洋バイオシステム研究センターで、市内の児童と保護者を対象にしたイベント「磯の生き物観察」が開かれた。親子6組12人が参加し、海の生き物について学んだ。



磯で生き物を探す参加者ら＝鴨川

鴨川市と千葉大学の同センターは、海の生き物の多様性が環境に与える影響や、同市内浦にある同大海洋バイオシステム研究センターで、市内の児童と保護者を対象にしたイベント「磯の生き物観察」が開かれた。親子6組12人が参加し、海の生き物について学んだ。

この日は、同センターの技術専門職、瀧口謙一氏の案内の下、ウニやヒトデ、カニなどを観察。児童らは、興味津々といった様子で、瀧口氏へ質問を重ねた。

その後、同施設のギャラリィや水族館で、標本や写真、鴨川市付近の海に生息している魚などを見学。富樫辰也センター長が、研究内容などを紹介し、「大きくなったら、面白いと感じたことを一緒に研究しましょう」と誘った。

参加者は「カニや小さな魚を捕まえて楽しかった」「ウツボやカンガセなど危険な生き物がいて驚いた」

「子どもと一緒に楽しむ磯の生き物について学ぶことができた」など、感想を話した。